



みどりの風

平成27年7月1日発行
校報 第521号
(みどりの風 第64号)
練馬区立関町北小学校

先人の教えに学ぶ

- つもりちがい 十ヶ条 -

校長 大野 泰弘

もう十年以上も前になるでしょうか、教頭時代の仲間と近隣の山道を歩いていた時のことです。道沿いのとある山寺の門に以下の「つもりちがい 十ヶ条」という言葉が記されていることに気付き、なにげなく読んでみました。そして、次の瞬間、私は「なるほどなあ」と感心し、思わず手元にあった紙に書き写しました。

そのつもりでがんばりましょう	高	低い	教養
	低	高い	気位
	深	浅い	知識
	浅	深い	欲望
	厚	薄い	人情
	薄	厚い	面皮
	強	弱い	根性
	弱	強い	自我
	多	少ない	分別
	少	多い	無駄
			つもりちがい 十ヶ条

どなたが考えた言葉かは分かりませんが、思想、信条、宗教等にかかわらず、先人の教えには、「言い得て妙」と思われることがたくさんあるということをあらためて学んだ気がしました。

「教育には、『不易』と『流行』がある」とよく言われますが、この「つもりちがい 十ヶ条」は、自分自身を謙虚に戒めるものとして、まさに『不易』の一つであると思います。子どもたちの前に立ち、その子の将来に向かって、多様な可能性を引き出していくという大切な使命をもっている私たち教師は、子どもの立場に立って、自分自身を客観的に捉えつつ、子どもと共に成長していこうとする思いをもたねばなりません。それが、本校の教育目標「共に生きる」の基本的な精神にもつながるのではないかと思います。

ここまで教えたのだから、これだけ練習をしてきたのだから、これは分かるはず、できるのが当たり前、そのように子どもたちを見てしまうのではなく、子どもたちの成長は十人十色、誰もが一つのことを身に付けるにも、そのスピードが異なるのは当然のこととして受け止めていかねばなりません。「言ったつもり」、「教えたつもり」、「育てたつもり」等々の「つもり」を見つめ直し、ふとしたことで陥りがちな「つもりちがい」を是正しながら、子どもたちの伸びゆく力を信じて向き合っていきたいものです。

今月には、夏休みを迎えるにあたって、お子様のことについて話し合う個人面談が予定されています。大人側が「つもりちがい」に陥らないように留意し、子どもたち一人一人の今を正しくとらえて、子どもたちが長い夏休みを有意義に過ごすことができるようにしていきたいと思ひます。

これからも、校長自ら、自分自身の「つもりちがい」を戒め、子どもたちと共に、「人としての在り方や生き方」について考えていきたいと思ひます。

間もなく梅雨明けになるかと思ひますが、これまでのご支援に感謝しつつ、この夏も引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。